

令和4年度第2回栗山警察署協議会議事概要

1 開催日時

令和4年10月14日（金）午後2時00分から午後3時00分まで

2 開催場所

栗山警察署 会議室

3 出席者

(1) 委員 7名（定員8名）

会長 永池 英彦

副会長 姉崎 祐子

委員 森下 由美子、高橋 勝治、樋口 千栄子、小川 実千代

(2) 警察署員 5名

署長 中村 雅幸

分庁舎所長 坂口 秀樹

警務課長 松林 準（事務局担当）

生安課長 佐瀬 寛明

交通課長 岩佐 直人

4 開催概要

(1) 開会の辞

(2) 会長挨拶

(3) 署長挨拶及び懲戒処分に関する説明

(4) 業務概況説明

ア 刑法犯の認知、検挙状況

イ 施設見学

(5) 質疑応答

委員： 昨年より検挙率が減少しているように思います。どうしてなのでしょう。か。

警察： 昨年は、余罪が多数ある被疑者を検挙したことが、結果的に検挙率が高くなったことにつながっています。今後も犯罪検挙に努めていく所存です。

委員： 特殊詐欺のニュースを毎日のように見聞きしていると、私自身も特殊詐欺という犯罪に聞き慣れてしまいマンネリ化するのではないかと心配しています。

先日、北海道警察音楽隊によるコンサートの際、特殊詐欺に関する分かりやすい寸劇を見て、私たちも危機意識を持ち続けなければならないと感じました。

警察： 道内では、被害件数や被害額が昨年と比較し、大きく増えています。
当署では、特に高齢者の方々の会合に職員が赴き、「#9110」の相談電話の活用を周知し、特殊詐欺の被害に遭わないよう実施してまいる所存です。

委員： 最近では、若い女性が見知らぬ男性とSNSで知り合い、その末に殺害される事件や小さなお子様が突然行方不明になる痛ましい事件が発生しています。

これからを担う大切な若い方の命を守るためにも、家庭内で親と子が話し合う機会を持つことが、痛ましい事件を防ぐことにつながると感じています。

私たち委員も地域住民の方々に、そのような思いを伝えて行きたいと感じています。

(6) 閉会の辞

5 次回の開催予定

次回開催を本年1月中旬から同月下旬としたが、新型コロナウイルス感染症感染状況を勘案するとした。